

大阪府における自殺対策の取組み

◆目 標

大きな社会問題となっている自殺を防止し、社会の健全な発展を図るため、自殺防止に向けた抜本的な対策を検討するとともに、関係機関・団体等との連携を強化し、「自殺対策基本指針」の目標（平成28年度までに自殺者数を1,500人以下にする）達成を目指す。

◆平成24年度の取組み（当初予算：1,836千円）

○自殺対策連絡協議会の運営（9月13日）⇒自殺対策審議会の設置（11月1日）・運営
 専門部会（「啓発・予防」「自殺未遂者支援」）・庁内推進会議の運営

○自殺対策基本指針の進捗管理

指針に基づく施策の実施状況の進捗管理

○自殺予防かかりつけ医研修の実施（10月6日）

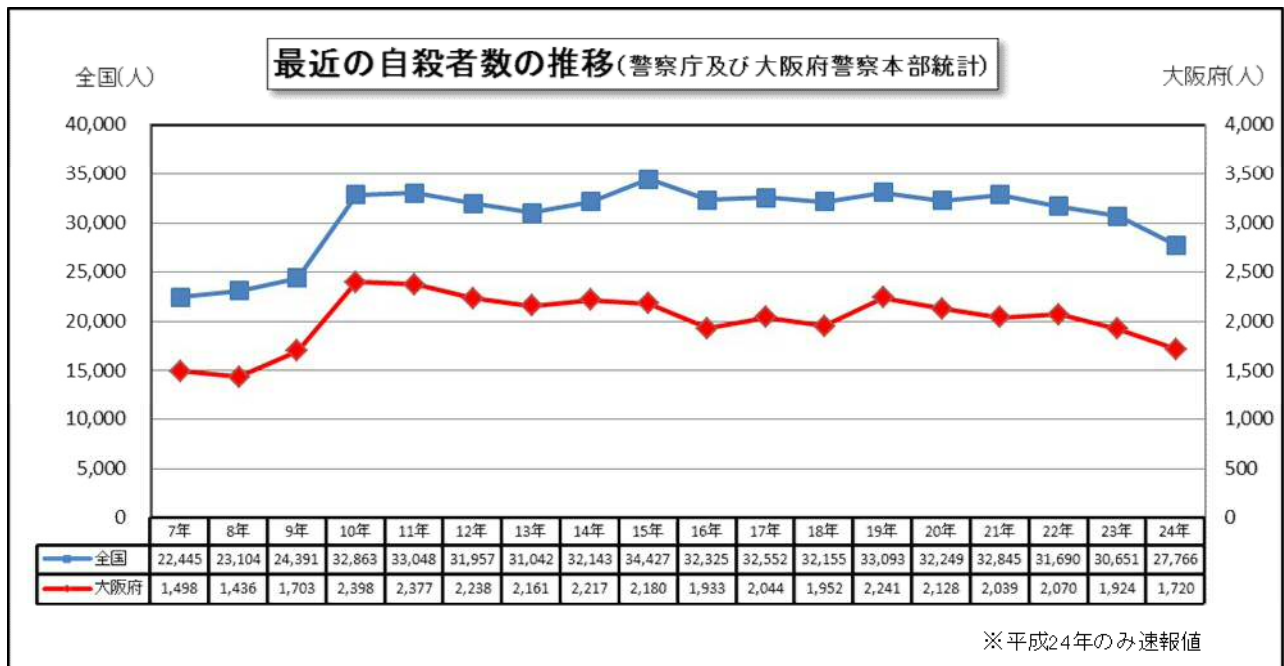
かかりつけ医を対象としたうつ病等の早期発見・早期治療による自殺予防推進のための研修会の実施

○自殺予防情報センターの運営

- ①自殺対策に関する情報の提供
- ②自殺対策連絡調整会議の開催
- ③自殺対策研修の実施
- ④自死遺族相談の実施

◇自殺対策緊急強化事業の実施（当初予算：366,986千円）

※別紙のとおり



◆これまでの経過

【平成15年度】（当初予算：2,755千円）

- 「大阪府自殺防止対策懇話会」の設置・運営（平成15年度～17年度、4回開催）
医療、社会学、産業、労働、民間ボランティア等で構成
- 「自殺防止標語」「自殺防止アイデア」の募集
一般から募集、アイデアはピックアップして事業化
- リーフレット「相談機関一覧（悩み相談）」の作成
自殺、悩み相談に限らず、経済、労働、法律等の相談窓口を網羅
- メンタルヘルス研修（地域版：18箇所）の実施
精神科以外の医療従事者を対象に自殺防止と精神科医療との連携を図るための研修会

【平成16年度】（当初予算：3,269千円）

- 「自殺防止に役立つ体験談」の募集
一般から募集、経験者や遺族、友人等から応募
- 自殺防止対策セミナーの開催
相談機関の職員等を対象とした自殺の前兆・対応方法・電話相談の受け方等、資質向上のための研修会
- 自殺防止フォーラムの開催
一般府民対象の有識者等による講演と報告
- 小冊子「自殺防止に役立つ体験談・アドバイス集」の作成
応募のあった体験談と専門家によるアドバイスを小冊子として編纂

【平成17年度】（当初予算：3,973千円）

- 自殺防止対策懇話会において「自殺防止対策について」の提言のとりまとめ
①社会問題としての自殺 ②関係者の相互連携 ③自死遺族への支援
④医学的問題としての自殺 ⑤行政機関の責任
- 体験談発表会の開催
自殺防止に役立つ体験談の内容を本人自らが発表
- 街頭啓発キャンペーンの実施
自殺問題についての府民の意識・関心の喚起のために啓発物品を配布
- ホームページによる情報提供
「大阪府の自殺の概要」「相談機関一覧」「自殺防止に役立つ体験談・アドバイス集」等をホームページに掲載

【平成18年度】（当初予算：3,116千円）

- 自殺防止街頭啓発キャンペーンの実施（9月10日・世界自殺予防デー）
府民啓発のために府内主要駅で啓発物品を配布
- 自殺対策連絡協議会の設置（12月5日）・運営（12月22日）
目的：自殺対策基本法の理念に基づき、府民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現を目指し、総合的・効果的な自殺対策について協議・推進

委員：商工労働・教育・警察等の関係部局や、市町村、医療機関、学識経験者及び民間団体等

- メンタルヘルス研修会の開催（2月21日、23日、3月1日、15日、22日）
事業主・人事労務担当者等を対象にうつ病を中心とした自殺防止のための研修会
- 自殺防止対策研修会の開催（2月21日、3月2日）
関係機関職員を対象にうつ病を中心とした相談・支援体制の充実を図るための研修会
- 自殺防止講演会の開催（3月27日）
「生命（いのち）の大切さ」をテーマにした府民啓発のための講演会

【平成19年度】（当初予算：5,107千円）

- 自殺対策連絡協議会の運営（5月11日、3月10日）
ワーキンググループ「啓発・予防」「自死遺族支援」の設置・運営
- 自死遺族支援パンフレットの作成
自死遺族によるメッセージと相談機関・団体の紹介
- 自殺防止対策ロゴマークの募集・制作
府内在住・在勤・通学者から自殺防止対策のためのロゴマークを募集・選定・制作
- 街頭啓発キャンペーンの実施（9月10日・世界自殺予防デー）
府民啓発のために市町村とともに府内主要駅で啓発物品を配布
- 自殺予防イベントの開催（9月15日）
 - ①自殺対策防止ロゴマークの表彰式
 - ②自死遺族・学識経験者・民間団体による府民啓発のためのシンポジウム
 - ③相談コーナー（自死遺族・多重債務・こころの健康相談）
- 自殺予防対策研修会の開催（12月18日）
保健所・市町村・教育関係職員等を対象とした自死遺族支援を中心とした相談・支援体制の充実を図るための研修会
- 自死遺族支援全国キャラバンの開催（3月30日）
民間団体との共催で自死遺族支援のためのシンポジウムを開催

【平成20年度】（本格予算：2,144千円）

- 自殺対策連絡協議会の運営（12月5日）
専門部会（「啓発・予防部会」「自殺未遂者支援部会」）・庁内連絡会議の設置・運営
- テレビ（大阪情報箱）による広報（7月20日）
自死遺族からのメッセージと電話相談窓口等の自殺予防に向けた取組みを紹介
- 街頭啓発キャンペーンの実施（9月10日）
市町村とともに府内主要駅前で啓発物品を配布
- 自殺予防週間相談会・こころの健康セミナーの開催（9月15日）
 - ①自殺予防週間ポスターの作成・掲示
 - ②自死遺族・多重債務・こころの健康に関する相談会
 - ③うつ病や眠りに関する講演、ストレスチェック、パネル展示等

- 自殺予防かかりつけ医研修の実施（２月１日）
 - かかりつけ医を対象としたうつ病等の早期発見・早期治療のための研修会の実施
- 自殺対策研修会の実施（１月９日、３月１６日、３月２８日）
 - ①関係機関職員を対象としたグリーンケアや自殺未遂者支援等、相談機能向上のための研修会の実施
 - ②経済不況における自殺対策緊急合同研修会の実施

【平成２１年度】（当初予算：２，３０２千円）

- 自殺対策連絡協議会の運営（２月１０日）
 - 専門部会（「啓発・予防」「自殺未遂者支援」）・庁内連絡会議の運営
- 自殺対策基本指針（仮称）の策定準備
 - 地域の特性に応じた実効性のある自殺対策を推進するための指針の策定
- 自殺予防街頭啓発キャンペーンの実施（９月１０日、３月２５日）
 - 市町村とともに府内主要駅前啓発物品を配布
- 自殺予防かかりつけ医研修の実施（１月３０日）
 - かかりつけ医を対象としたうつ病等の早期発見・早期治療による自殺予防推進のための研修会の実施
- 自殺予防情報センターの設置・運営
 - ①自殺対策に関する情報の提供
 - ②自殺対策連絡調整会議の開催
 - ③自殺対策研修の実施
 - ④自死遺族相談の実施（１０月１日～）
- ◇自殺対策緊急強化事業の実施（補正予算：６８，１０７千円）

【平成２２年度】（当初予算：１，５１５千円）

- 自殺対策連絡協議会の運営（１月１９日）
 - 専門部会（「啓発・予防」「自殺未遂者支援」）・庁内連絡会議の運営
- 自殺対策基本指針（仮称）の策定
 - 地域の特性に応じた実効性のある自殺対策を推進するための指針の策定
- 自殺予防かかりつけ医研修の実施（１月１５日）
 - かかりつけ医を対象としたうつ病等の早期発見・早期治療による自殺予防推進のための研修会の実施
- 自殺予防情報センターの運営
 - ①自殺対策に関する情報の提供
 - ②自殺対策連絡調整会議の開催
 - ③自殺対策研修の実施
 - ④自死遺族相談の実施
- ◇自殺対策緊急強化事業の実施（当初予算：２１２，２０１千円）

◆平成23年度の取組み（当初予算：1,520千円）

○自殺対策連絡協議会の運営（1月30日）

専門部会（「啓発・予防」「自殺未遂者支援」）・庁内推進会議の設置・運営

○自殺対策基本指針の策定（3月30日）

地域の特性に応じた実効性のある自殺対策を推進するための指針の策定

○自殺予防かかりつけ医研修の実施（10月8日）

かかりつけ医を対象としたうつ病等の早期発見・早期治療による自殺予防推進のための研修会の実施

○自殺予防情報センターの運営

①自殺対策に関する情報の提供

②自殺対策連絡調整会議の開催

③自殺対策研修の実施

④自死遺族相談の実施

◇自殺対策緊急強化事業の実施（当初予算：386,324千円）